

医学部第2学年 別表(1)

	コース名 (コース責任者)	ブロック (ブロック責任者)	配点	ユニット (ユニット責任者)		コマ数	時間数
前期	基礎医科学Ⅰ 生理学 (生体調節機能学部門)	A 生化学	100	血液の生化学	生化学	4	30
				脂質の生化学	生化学	5	
				細胞内情報伝達	生化学	3	
				タンパク質特論	生化学	3	
		B 解剖学(顕微解剖学部門)	200	組織の構造と個体発生	解剖学(顕微解剖学部門)	15	50
				ヒトの時間生物学	解剖学(顕微解剖学部門)	10	
		C 解剖学(肉眼解剖学部門)	300	運動器系の解剖	解剖学(肉眼解剖学部門)	12	78
				神経系の解剖	解剖学(肉眼解剖学部門)	12	
		D 生理学(生体制御学部門)	200	循環器系・呼吸器・泌尿器の解剖	解剖学(肉眼解剖学部門)	15	56
				神経・筋の生理	生理学(生体制御学部門)	12	
		E 生理学(生体制御学部門)	100	中枢神経の生理	生理学(生体制御学部門)	16	26
				感覚の生理	生理学(生体制御学部門)	13	
		F 生理学(生体調節機能学部門)	200	血液・造血の生理	生理学(生体調節機能学部門)	5	44
				呼吸の生理	生理学(生体調節機能学部門)	8	
	体温の生理			生理学(生体調節機能学部門)	2		
	循環の生理			生理学(生体調節機能学部門)	7		
	G 生理学(生体調節機能学部門)	300	内分泌の生理	生理学(生体調節機能学部門)	6	62	
			消化器の生理	生理学(生体調節機能学部門)	5		
			生殖器の生理	生理学(生体調節機能学部門)	3		
			代謝の生理	生理学(生体調節機能学部門)	3		
腎・尿路の生理			生理学(生体調節機能学部門)	6			
病態生理			生理学(生体調節機能学部門)	8			
医学総論Ⅰ 生理学 (生体制御学部門)		合否	生化学実習	生化学	※ 8	16	
		合否	English for Global Communication	英語	○ 8	16	
			日本語対話法	生理学(生体制御学部門)	○ 8	16	
			生命(いのち)の講座	生理学(生体制御学部門)	○ 7	14	
前期合計		7ブロック	1400			319	638
後期	基礎医科学Ⅱ 微生物学	H* 微生物学	200	免疫の働きを担う器官、細胞と分子	微生物学	12	42
			免疫の生理学的と病理学的役割	微生物学	9		
		I* 微生物学	200	細菌と真菌	微生物学	22	44
		J* 薬理学(臨床薬理学部門)	200	自律神経・神経筋接合部の薬理	薬理学(医科薬理学部門)	11	52
			生体と薬物	薬理学(臨床薬理学部門)	15		
		K* 解剖学(顕微解剖学部門)	200	消化器・生殖器の解剖	解剖学(顕微解剖学部門)	11	46
		リンパ・内分泌・感覚・外皮の解剖	解剖学(顕微解剖学部門)	12			
	臨床基礎医科学 臨床病理診断学	L 微生物学	200	寄生虫	微生物学	6	38
			ウイルス	微生物学	13		
		M 臨床病理診断学	200	病理病態総論Ⅰ	臨床病理診断学	16	32
		N 臨床病理診断学	200	病理病態総論Ⅱ	臨床病理診断学	16	32
	薬理学(医科薬理学部門)	200	循環・腎・呼吸・消化・脂質代謝の薬理	薬理学(臨床薬理学部門)	10	34	
			中枢神経系の薬理	薬理学(医科薬理学部門)	7		
	P 臨床感染症学	200	感染症	臨床感染症学	20	40	
	社会医学Ⅰ 衛生学公衆衛生学 (衛生学部門)	Q 衛生学公衆衛生学 (衛生学部門)	100	環境衛生	衛生学公衆衛生学(衛生学部門)	15	30
	臨床医学Ⅰ 外科学 (呼吸器外科学部門)	R 外科学 (呼吸器外科学部門)	100	外科学総論	外科学(呼吸器外科学部門)	14	28
	基礎医科学Ⅲ 解剖学 (肉眼解剖学)		合否	肉眼解剖学実習	解剖学(肉眼解剖学部門)	※ 80	160
			組織学実習	解剖学(顕微解剖学部門)	※ 52	104	
後期合計		11ブロック	2000	*ブロックH, I, J, Kのコマ数・時間数の合計は前期合計に加算		249	498
前後期合計		18ブロック	3400			568	1136
必修ユニット数				38ユニット		※印は実習 ○印は演習	
実習ユニット数				4ユニット			
演習ユニット数				3ユニット			
合計ユニット数				45ユニット			

*ブロックH, IはブロックLと関連があることから、前期に授業を行い、後期定期試験で評価する。

*ブロックJはブロックOと関連があることから、前期に授業を行い、後期定期試験で評価する。

*ブロックKは組織学実習と関連があることから、前期に授業を行い、後期定期試験で評価する。

項 目	不合格ブロック・ ユニット数	合格基準点	判 定
定期試験	0	—	進級※
	1～7	—	再試験受験資格あり
	8以上	合格基準点総和(2,040点)以上 合格基準点総和(2,040点)未満	〃 留年
再試験	0		進級※
	1以上		留年
演習・実習	0		進級※
	1以上		留年

※進級には演習及び実習を含む全てのユニットの合格が必要